

こ・あ・い・さ・つ

1988年にはじまったラボ高校留学プログラム。15歳から18歳という肉体的にも精神的にも大きく成長をする時期に、生活環境を変えて生活をしていくことは時に厳しい挑戦になりますが、語学力はもちろん、さまざまな経験を経て得られる充実感や自信、視野のひろがり、そ

の後の人生において強い支えとなっていくことでしょう。これまでに本プログラムに参加したラボっ子は、1300人を超えました。『ひとりだちへの旅』の集大成として、若者の大きな飛躍のための選択肢のひとつとして、ラボ高校留学プログラムへのご参加をぜひご検討下さい。

## プログラムの特徴

### アメリカ交換留学プログラムとは……

アメリカの高校に留学するには、①交換留学プログラム(J1ビザ:交換訪問者ビザ)、②私費留学(F1ビザ:学生ビザ)という2つの方法があります。ラボ高校留学プログラムは、「①交換留学プログラム(J1ビザ)」を主催する団体と提携を結び、運営されています。

交換留学生には、家族の、そしてコミュニティの一員となり、日々の生活を楽しむことができる資質が求められます。

留学中は、ホームステイをしながら公立高校に通学します。学費は、アメリカ政府からの援助でまかなわれており、ホストファミリーだけでなく、通学校も留学生を受け入れることで外国の文化・体験を共有したい、という高い期待を持っています。

毎年、世界中から約3万人もの高校生がJ1ビザをとり、アメリカに交換留学をしています。

J1ビザを取得して留学する交換留学生には、一定以上の英語力、日本・アメリカの通学校での平均以上の成績を維持することが求められます。

### カナダ留学プログラムとは……

カナダには、公立・私立を合せて、約5500の高校があります。カナダでは、各州に教育省が置かれ、義務教育の期間や教育制度、教育内容は州ごと、教育委員会、教育学区ごとに異なります。カナダ人の95%が公立高校に通っており、教育水準の高さは有名です。

ラボ高校留学プログラム参加者は、各教育学区が選定する家庭にホームステイをし、通学します。各学区には、留学生の窓口となるカウンセラーの先生がいるので、生活面・学業面の相談に乗ってもらうことができます。また、各学区には、ほとんどの場合ESLクラス(母語が英語でな

い学生向けの英語クラス)が用意されており、英語力に少し自信がない人にも安心です。授業の選択科目も多く、CafeteriaやGuitar等の、めずらしい授業をとることのできる学校もあります。豊かな自然のなか、さまざまなことにチャレンジすることができる環境が整っています。現在、ラボカナダ留学プログラムでは、プリティッシュコロンビア州・アルバータ州の複数の学校区と提携を結んでいます。

### a. 強力なサポート体制

それぞれの団体に、留学生担当のコーディネーターが存在し、相談することができます。また、現地の日本人ラボ・カウンセラーに常時相談できる体制となっています。カウンセラーは、留学生からのマンスリーレポートに基づいたカウンセリングを行います。レポートの内容や留学生とのコミュニケーションは、タイムリーに東京のラボ国際交流センターに報告されます。

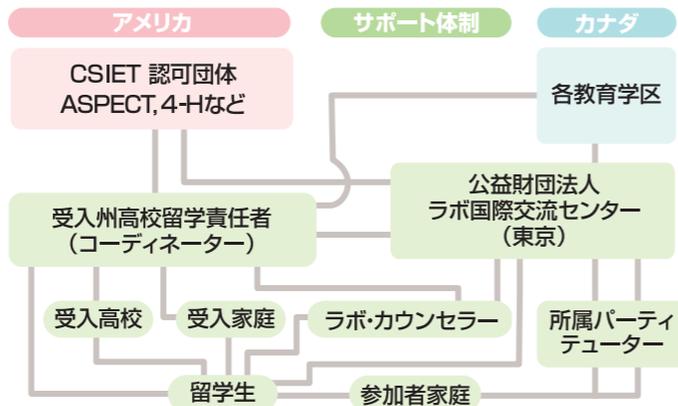
### b. 充実した事前準備プログラム

留学生が自信をもって現地での生活をおくれるように、オリエンテーション、全国合同合宿などラボの長年の経験やノウハウを活かした事前準備プログラムが用意されています。

### c. 現地オリエンテーションプログラムによりスムーズに留学生活へ

アメリカ・カナダ到着後、受入れ団体主催の現地オリエンテーションがあります。アメリカ留学生は各団体ごとにプログラムのルールなどの最終確認をします。

カナダ留学生は、「英語研修+ホームステイ」スタイルのオーダーメイドプログラムで準備の総仕上げをしています。



## 第33期アメリカ・カナダ 2020~2021



ラボ  
高校留学  
プログラム